

「ぎゅっとキッチン」L型仕様の平面図



カウンター(調理スペース) H=850mm



カウンターテーブル H=700mm



カウンターテーブルは、使う場所に合わせて、簡単に高さ調節ができます。

**Point 1** キッチン

グループインタビューを重ねた結果見いだした最終コンセプトの中で、最も意見が多かったのが「キッチン」です。そのお客様の具体的なニーズにお応えするため、企画・開発したのが「ぎゅっとキッチン」です。

**たくさんの方が「ぎゅっとキッチン」が「動きやすく、使いやすい」**

限られたLDKのスペースを、いかに有効に活用するか。それを実現するのが、「ぎゅっとキッチン」です。くつろぎ空間を広げるために、「キッチン・ダイニングスペース」をコンパクトにし、使いやすさを第一に考え、さまざまな機能を凝縮しました。

「ぎゅっとキッチン」L型仕様の場合は、さまざまなキッチン・ダイニングスタイルに対応。たとえば、キッチン天板と同じ高さのカウンターを設置すれば作業スペースが広がったコの字型キッチン風に。高さを変えてカウンターテーブルとして利用することも。住まう方のお好みに合わせ、さまざまな使い方ができます。

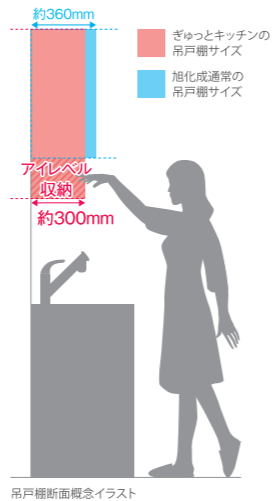


**DINKSから始まる「理想のLDKの実現」**

—リビングを確保しながらも、収納豊富でコンパクトなDK—



〈収納レイアウト〉



吊戸棚断面概念イラスト

**ぎゅっとキッチン**  
GYUTTO KITCHEN

**食器・調理器具・家電・ゴミ箱・食材 5つのアイテムをしっかり収納可能**

通常の吊戸棚は高い所にあるため、取り出しにくくなります。そこで、奥行きを浅く、下に長く設計し、アイレベル収納を増やしました。また、扉は開閉の際にスペースを取らない引き違い扉または開き扉です。

**お客様の「声」を聞き、「思い」を知ることで、「ぎゅっとキッチン」は生まれました**

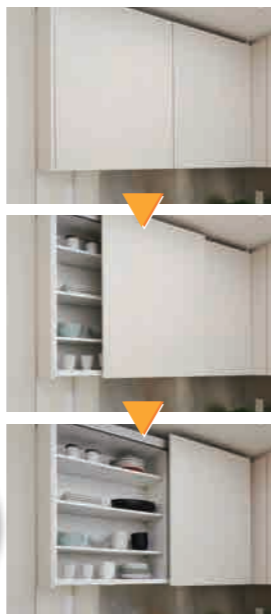
共働き家庭の生活を、より豊かにするための提案をしている旭化成の「共働き家族研究所」では、モニターによるグループディスカッションや入居宅訪問調査などを通して、さまざまなご家族の生の声をお聞きしています。そんな中、私たちが着目したのは、「コンパクトなLDKにもソファとダイニングテーブルを置きたい。キッチンの収納も確保したい...」というご意見でした。その想いにお応えするため、旭化成不動産レジデンス(株)とタカラスタンダード(株)が共同で開発したのが「ぎゅっとキッチン」。コンパクトでも使いやすく高機能、高密度なキッチンを、ご提案します。

■お問い合わせは、アフターサービスセンターまで  
TEL 0120-09367-5558



**出すとスペース**

「ゴミ箱をすっきりと収納可能。引き出すと、その奥のコーナー部も2段の収納スペースとして活用でき、デッドスペースがありません。」



**引き戸の吊戸棚**

開き扉に比べ小さな動きで開閉することが可能。食器の出し入れもスムーズにできます。

LDKは物が少なくスッキリしている家庭が多く、特にキッチン周りの収納量は少ない。食器棚を置いていない家族もいる。

**訪問調査**  
「生活スタイル」や「部屋の使用方法」「キッチン」「収納」について

30代後半～40代前半で、将来お子様を望んでいる方が多い。

- 共働き夫婦が多く、女性の小物類(靴、バッグ)や洋服が多く、収納量を必要としている。
- 日当たりの良い場所に、洗濯物を干したいという希望が多い。

平日の食事は、自分で簡単に作って食べる程度で、手の込んだ料理はあまり作らない。休日は、夫婦一緒に自宅で作ったり、外食をしている。

**グループインタビュー**  
グループインタビューを重ねて参加者の意見を検証

グループインタビュー風景

3つの方向性から見いだした最終コンセプト

**Point 1** キッチン  
LDKのオープンな空間に対応できるようなデザインと、食器棚機能も兼ねたキッチン。

**Point 2** 新DK+Lスタイル  
住まわれる方が自分好みにセレクトを行い、空間づくりができるスタイルを提案。

**Point 3** 可変性  
将来家族構成が変化した際にも対応できるように考えられた間取り。↓お子様がいらっしゃる家族でダイニングテーブルを置きたいというニーズにも対応できる間取り。

コンパクトな2LDKを暮らしやすくするための調査実施

都心部に多い間取り、50㎡台の2LDKをより暮らしやすいものにするために、アトラスマンションに住んでいるDINKSのお客様の入居宅調査を実施しました。

提案コンセプトアイテムについてグループインタビュー

前記の入居宅訪問調査結果をもとに、コンセプトやアイテムを提案。それに対し、より具体的な意見を伺うため、旭化成社員によるグループインタビューを実施し、提案の視点・内容を修正し集約していきました。

**最終コンセプト**  
コンパクトな2LDKのためのコンセプトから商品開発へ

\*DINKS=子どもを持たない共働き夫婦のこと / DEWKS=子どものいる共働き夫婦のこと





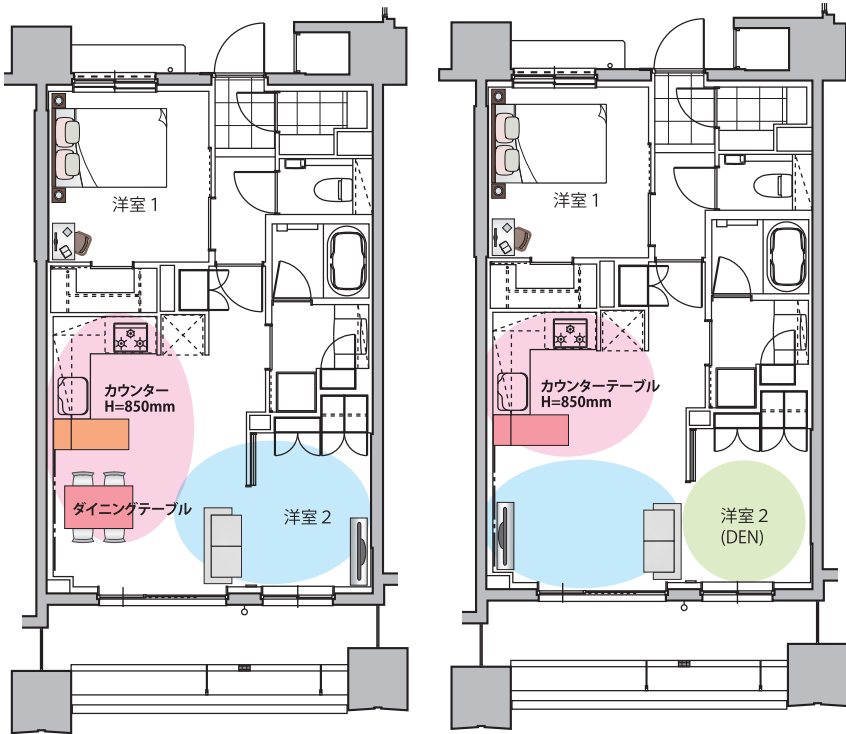
新しい2LDKのカたち

DINKSからDEWKSへと家族が増えると生活のスタイルも変化していきます。そんな変化にもフレキシブルに対応できる、LDKと連続する洋室を使った柔軟性のある住まい方のご提案です。

① ライフステージ【DINKS 夫婦2人】



- 「洋室2」にLDを拡大して1ルームで利用または「洋室2」を「DEN」として2ルーム利用が選べる。
- LDの引戸は壁に収納できるので、広々としたリビングに。
- カウンターテーブルは、H=850mmの広いカウンターとして利用したり、H=700mmとしてダイニングテーブルとすることもできる。



DK+L (拡張) スタイル  
(引戸を開けて1ルーム)

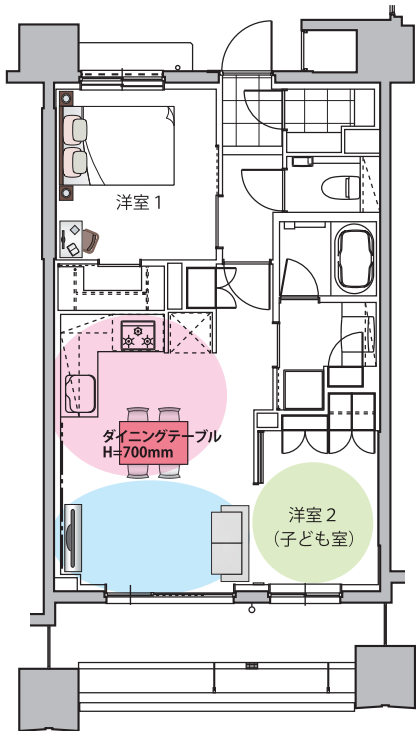
DK+L+DEN スタイル  
(必要な時、引戸を開けて2ルーム)

● キッチン・ダイニングバリエーション

② ライフステージ【DEWKS 夫婦2人+子ども(小学生)】



- 「洋室2」を「子ども室」として利用。
- キッチンテーブルはH=700mmにしてダイニングテーブルとして使い、ソファコーナーも確保できる。
- または、H=850mmとしてカウンターテーブルとしても良い。



K+D+L+洋室 スタイル  
(原則、引戸を閉めて2ルーム)



① ライフステージ：カウンターテーブルをキッチン高さと合わせて設置し、コの字型キッチンスタイル



② ライフステージ：ダイニングテーブルを別にレイアウトする場合のコンパクトなL型キッチン

● キッチン・ダイニングゾーン ● リビングゾーン ● DEN、子ども室などの別用途で利用

\*DINKS=子どもを持たない共働き夫婦のこと / DEWKS=子どものいる共働き夫婦のこと

